

★ 関係機関に意見・要望活動を展開

1. 「人口減少時代における若者の地元定着に向けた長岡地域の魅力発信」に関する 10 部会の意見を地域・まちづくり委員会で集約し、高見副市長（長岡市長職務代理者）へ要望

■9/9（金）、丸山会頭をはじめ、大原副会頭、細川副会頭、北村副会頭が出席し、下記 2 項目について高見副市長へ要望書を提出。9/30（金）に要望書に対する回答をいただいた。

＜長岡市への要望項目＞

（長岡市の回答）

1. 「長岡地域の魅力」を総合的に発信するシティプロモーション活動の推進

- ・長岡の魅力を効果的に発信するため、情報発信室やシティプロモーション課を設置し、長岡花火や火焰土器、錦鯉などの長岡ブランドを全国や世界に発信するとともに、ふるさと長岡への愛着と誇りを醸成する長岡版シティプロモーションを実施しております。WEB サイトの新設や、シティプロモーション番組の全国放送、ポータルサイト「U・I・L・I・F・E ながおか」、市内企業の PR 動画を U・I・ターンの促進に向け、具体的に活用して行きたい。



9/9（金）丸山会頭から高見副市長へ要望書を提出

2. 若者の地元定着に向けた取り組みの促進

（長岡市の回答）

- ・大学生を対象とした就職ガイダンスや県内外大学と地元企業の情報交換会などによる就職活動を支援するとともに、未来の起業家応援事業補助金に「スタートアップ支援枠」を創設し、若者がより起業しやすい環境づくりを整備しました。このほか、大学生等を対象に市内企業へのインターンシップと海外留学を組み合わせたトビタテ！留学 JAPAN「長岡米百俵グローバル人材育成事業」にも取り組んでおります。また、産学官金が連携してインターンシップに取り組んで行く協議会を立ち上げ、積極的に取り組んでまいります。

2. 長岡大学入学定員増に関する要望

■5/20（金）長岡大学の入学定員を現在の 80 人から増員していただくよう文部科学大臣に要望した。→平成 29 年 4 月から入学定員が 100 人に増員される予定。

3. 地方創生推進に向けた中小企業・小規模事業者支援に関する要望

■6/22（水）に来岡された林幹雄経済産業大臣に「中小企業、小規模事業者への支援策拡充」を要望した。

1. 「経営発達支援計画」の推進に伴う予算措置への配慮
2. 「小規模事業者持続化補助金」等の補助制度の拡充
3. 「小規模事業者」該当基準の見直しによる支援策の拡充

1. 中小企業・小規模事業者の販路拡大及び経営支援

（1）販路・受注拡大の支援（越後長岡物語による PR 強化）

①ビジネスサポート事業（創業・農商工連携含む）（助成件数：23 件、助成金額：226 万円）

■販路開拓やサービスの向上対策など、会員企業の売上拡大につながる取り組みに対し、事業費の助成と職員による寄り添いのサポートを実施。6 年目となる本年度は内容を拡充し、過去に採択を受けた事業所でも別事業であれば申請可能とするとともに、農商工連携による取り組みや創業 5 年未満の事業所には優遇措置を設けた。

②ものづくり産業の販路拡大支援（インターナショナル・ギフト・ショー、食の大商談会出展支援他）

■第 82 回東京インターナショナル・ギフト・ショー（9/7～9）

東京ビッグサイトで開催された日本最大のギフトと雑貨の国際見本市ギフトショーに初めて出展。会員企業各社のバラエティ豊かなオリジナル商品を出品し、販路拡大に取り組んだ。（参加企業：12 社）



■第 1 回名古屋 M-tech（4/19～21）・第 20 回東京 M-tech（6/22～24）

ポートメッセ名古屋および東京ビッグサイトで開催された日本最大規模の技術の展示会である M-tech（機械要素技術展）に出展。優れた技術・製品を全国に向けて発信し、販路拡大に取り組んだ。（参加企業：名古屋 5 社・東京 8 社）



■うまさぎっしり新潟「食の大商談会 2016」（9/9）

新潟県産の食品や食材の販路拡大を目的に、池袋サンシャインシティで開催された「食の大商談会」へ、昨年に引き続き食品部会として出展。7 社で連携し、食品流通バイヤーや小売・卸業者に対して積極的な商談を行った。

（参加企業：7 社）



③長岡まちなかマルシェ事業（のんべえ横丁併催）（8/27）

■ビアフェスタ×まちなかマルシェ（出店数：29 店舗 来場者：15,000 人）

まちなかの賑わいおよび販路拡大を目的とし、大手通 2 丁目地内を会場に開催。29 店舗から出店いただき、約 15,000 人が来場した。

2 回目の開催となる「のんべえ横丁」も、昭和の雰囲気ですり上がりを見せた。



（2）伴走型経営支援の展開

①経営安定支援事業（専門家との連携、金融支援、各種相談対応他）

（補助金申請支援採択件数 ①持続化補助金 13 件、②創業関係補助金 7 件）（会員事業所訪問件数 1,450 件）

（マル経融資推薦件数 15 件 融資額合計 10,360 万円）

②創業者ネットワーク事業「創業者クラブ」の開催（3 回）

（登録メンバー 27 名、参加メンバー数：延べ 43 名）

創業後、概ね 5 年以内の事業者を対象に、販路開拓や売上拡大をしながら利益率の向上を目指すため、経営理念の作り方や自社の強み、他社との差別化を考える勉強会並びにグループによるディスカッションを行った。



2. 交流・連携の拡大

①エリアプロジェクト事業 Part 4（東西南北 4 ブロック）（参加者合計 194 名）

「会員相互の交流と連携の拡大によるビジネスチャンスの創出を推進」

■昨年同様に副会頭が各ブロックを担当し、各エリアの小規模企業振興委員から積極的に運営協力をいただき、「交流会」を実施。各ブロックごとに特色ある交流会を企画し、会員相互の「交流・連携」と参加者同士のビジネスに繋がった。



【東ブロック】7/6 参加者 56 名
「噂の現場 Part5 & 大交流会」
国の登録有形文化財の「水道タンク」の内部を見学。希望者はタンクの上まで登り、周りの景色を眺望した。



【西ブロック】7/7 参加者 48 名
「西ブロック交流会 in いまつ」
川西を飛び出して初の東地区での開催。協賛品が当たる大抽選会の他、自社 PR を行い盛り上がった。



【南ブロック】7/22 参加者 45 名
長岡野菜を堪能する「ランチ交流会」
女性に人気のレストランで旬の食材のランチを堪能した後、クイズ大会で交流を促進した。



【北ブロック】7/22 参加者 44 名
「北ブロック交流会 in 魚石」
単純なアトラクションで大いに盛り、2 次会には、ほぼ全員が参加。深い交流を図った。

②会員交流事業（10 部会）

■各部会において本年度の意見要望を協議するとともに、会員相互の交流とビジネス拡大を目指した企業視察会や、首都圏の展示会への出展を実施した。（10 部会合計で延べ 359 名が参加）



【金融部会】7/14～15 参加者 15 名
普段入ることのできない佐渡市「大立堅抗」など産業ガイドの説明聞きながら遺産群を視察し、世界遺産登録に向けた取り組みについて学んだ。



【生活用品部会】9/1 参加者 13 名
事業拡大・販売戦略などについて小千谷市の「かまくら工房」並びに「農プロデュースリッツ」から講話いただいた。



【機械・電機部会】9/1 参加者 22 名
事業内容や沿革、作業工程などについて与板の「榎阿部製作所」から説明いただいた。

③健康・医療・福祉ビジネス研究会の運営（9 月末現在会員数：181 名）（4 回）

■今年度で 3 年目となる当研究会は、新たなビジネスモデルの展開を目指し会員相互のビジネス交流を図る他、例会での話題提供による情報提供・自社 PR コーナーの場を積極的に提供した。



④青年部・女性会の運営支援

■青年部（9月末現在会員数：311名）

28年度は、「実践躬行」をスローガンに、青年経済人としてのスキルアップのための活動を精力的に展開中。9月には日本商工会議所青年部(YEG)の役員会が当所で開催され、全国から約200名が来岡。前泊者懇親会や各種会議、当所青年部との合同大懇親会などの実施協力を行い、事業の運営を通じて積極的な交流が図られた。



【青年部】合計300名による交流が行われた「日本 YEG との合同大懇親会」(9/8)

■女性会（9月末現在会員数：40名）

28年度は、「輝く地域の花になろう」を活動テーマに委員会や例会を開催。地域の特産品である日本酒に関する勉強会と利き酒大会の開催や、メンバーの会社・業界について紹介する“自己発表”、メンバーによるビューティーアップ体験等を行った。また、県内商工会議所女性会の合同研修会や全国大会へ参加し、県内外の女性会との交流も深めた。



【女性会】第2回例会にてビューティーアップ体験と納涼会を開催(8/23)

3. 人材確保・育成支援

①U・Iターン促進事業（就職情報サイト「Naw-s」の運営）（登録企業数209社）

■長岡市雇用対策協議会（長岡市・長岡公共職業安定所・長岡商工会議所の3者で構成）と連携し、一般及びU・Iターン求職者と新規学校卒業者に向けた、長岡地域の就職情報や企業情報の情報発信ツールとして「ながおか就職情報サイト」を運営し、人材確保を支援した。

②人材育成プログラム2016（分野別、階層別セミナーの実施）（13回開催、延べ791名が受講）

■企業経営や課題対応等のテーマ別セミナーを開催し、会員事業所の経営に役立つ情報提供、実務能力の向上に向けた支援を行った。



ビジネスセミナー「雇用関係助成金説明会」(6/17)



営業力強化セミナー「超一流の営業マンが行っている50の習慣」(7/5)



資金繰りセミナー「資金繰りの基本と常識」(7/27)

③各種検定試験事業

■受験者拡大に向けてPRを強化し、施行から2年目となる「ビジネスマネジャー検定試験」では、昨年春の受験者数が50名以上上回った。
（簿記、珠算、販売士、ビジネス法務、福祉住環境、ECO検定等7回施行、延べ676名が受験）

④専修大学 遠山ゼミの合宿を受入れ（学生37名、教員2名が参加）(9/15～16)

■ながおか・若者・しごと機構と連携し、専修大学経済学部 遠山浩教授のゼミ合宿を受入れた。会員企業8社の工場見学、交流懇親会、レポート発表会において、活発な交流が行われた。



4. 会員サービス活動

①新会員募集活動（会議所活動のPR、新入会員「事業・サービス優待券」発行）

■第10次行動計画の重点項目「組織力の強化」の実現に向けて、組織運営委員会を中心に新会員募集活動を展開するとともに、今年度の新事業である新入会員「事業・サービス優待券」の発行では、各種事業への参加率が向上した。（9月末現在新入会員数：76事業所、事業・サービス優待券利用件数9件）

②共済制度普及事業（キャンペーンの実施）

■中小企業の福利厚生と資産運用の充実などを目的に、4/1から2ヶ月半にわたり「春季共済キャンペーン」を実施。全国商工会議所Dグループ(会員数2,000～3,500)で基準保険料達成率部門全国第2位を獲得した。

■7/20(水)、共済還元事業として、「感謝のタベ サマー・ディナーショー」への加入者優待を実施し、マジックショーで大いに盛り上がった。
（参加者：109名）



共済還元事業
「感謝のタベ サマー・ディナーショー」

③経営・経済情報発信事業（会報・HP・フェイスブック他）、各種調査事業

■毎月15日発行の「会報 長岡商工会議所」は、当所事業や経営支援に関する情報ほか会員の皆様の声を多く掲載。また、公式フェイスブックページや、FMながおかのラジオによりタイムリーな情報発信を行なった。
（会報：会員事業所延べ56事業所の「声」を誌面に掲載、公式フェイスブック登録(いいね)数：402名、FMながおか「長岡商工会議所からのお知らせ」：週4本・前半期累計発信数102本）
（ながおか情報便折込件数：延べ59件 ※当所事業の折込を除く）

5. 大手通表町東地区市街地再開発事業に伴う「産業連携・協働拠点」構想

■昨年5月にワンストップ型の産業連携協働拠点施設の建設を長岡市に提案。以降、長岡市商工部・中心市街地整備室・当所で「東地区再開発事業に向けた産業連携・協働拠点施設のあり方」について、意見交換を行った。（5回開催）

6. 組織運営

①委員会活動（前半期合計20回開催）

■8委員会を中心に組織・財政の基盤強化及び事業活動の活性化について協議した。

②役員・議員視察研修会（参加者数16名）(8/26～28)

■当所と愛知県・豊川商工会議所が本年3月に「友好商工会議所」を締結したことを記念して、「役員・議員視察研修会」を名古屋市・豊川市において実施した。



※関係機関との連携事業



【長岡まつり前夜祭】

大手通周辺を会場として開催。民謡流しや神輿渡御の伝統行事で盛り上げた。
（来場者57,000人）



【ながおか・若者・しごと機構】

H27.12.1に設立。長岡での若者定住を図るべく、産学官と連携し、若者のアイデア実現に向けた取り組み等を支援。



【長岡まちゼミ】(9/1～9/30)

各商店主による無料のゼミナール「長岡まちゼミ」を開催した。（41店舗51講座）

【長岡産業活性化協会NAZE】
長岡の基盤産業である「モノづくり企業」を支援しているNP0法人長岡産業活性化協会NAZEの活動・運営を支援。（職員1名出向）

【経済・産業団体等との懇談会】
業界団体、金融機関及び行政との情報交換を目的とした「経済・産業連携会議」を開催。（5回開催）